

第2回観光振興会議

資料4 参考資料（R6.9.3）

▶第六次総合計 画前期基本計画

前期（令和2年4月～令和7年3月）の内容

1. 経済の安心

【前期基本計画の施策項目】

- | | |
|-----------|-------------------|
| 1 地域経済の振興 | 2 中小企業・小規模事業者の振興 |
| 3 農林業の振興 | 4 観光の振興 |
| 5 就労の支援 | 6 産業拠点の形成と企業立地の促進 |

▶第六次総合計画 前期基本計画評価（中間評価）

政策1 経済の安心を生み出す

目標 経済活動が活発で、多様な就労環境があるまち

	不良	やや不良	普通	概ね良好	良好
施策1 地域経済の振興					1
施策2 中小企業・小規模事業者の振興		1			1
施策3 農林業の振興			1	1	
施策4 観光の振興		1		1	
施策5 就労の支援			1	3	
施策6 産業拠点の形成と企業立地の促進			1	1	
計		2	3	6	2

一次評価

ほとんどの施策で、良好や概ね良好との評価となります。

中小企業・小規模事業者の振興や観光の振興について、新型コロナウイルス感染症の影響により栗東農業まつりなどのイベントが中止となりましたが、コロナ禍でも感染防止対策を図り事業実施しました。今後、コロナ禍以前にまで事業を展開していくとともに、農産物直売所などの観光資源や経済対策への対応をより一層行う必要があります。

二次評価

中小企業・小規模事業者の振興について、やや不良との評価がされている。農林業や観光と連携した商品や特産品開発などにより商業の活性化に取り組まれたい。

また、観光の振興についても、やや不良との評価がされている。県内でも本市の観光入り込み客数は少ない現状も踏まえ、農林業や商工業など他産業等との連携による観光の振興に取り組まれたい。

▶第六次総合計画 後期基本計画 策定に向けて

後期基本計画策定に向けて留意すべき要素例（見直しのファクター）

【全体】

- 人口・コミュニティの動向、社会的インパクトを想定した検討ができているか？

人口減少、少子化の進展

- ・国立社会保障・人口問題研究所の令和 5（2023）年の全国推計では、合計特殊出生率がさらに低下、出生数は2022年で77万人に
- ・人口減少の速度は緩和、要因は国際人口移動（外国人の転入を想定）

ICT など技術革新の進展

- ・ICT化（技術を生かした生産・利便性向上）からDX化（ICTやAIを活用した新たな価値創造）

コミュニティの変化

- ・世帯構造の変化（少人数化、高齢単身化）、空き家の増加
- ・栗東市では、子育て世帯が新たな住宅地にまとまって転入（既存コミュニティとの分断の危惧）

新型コロナウイルス感染症（ポストコロナ）

- ・あらゆる分野で、ニューノーマル（新しい常態、例えば日常生活や働き方におけるオンラインの普及等）への対応、コロナ禍の影響・効果の検証による次のパンデミックへの備え

大阪 IR、大阪・関西万博

- ・大阪 IR：大阪市夢洲地区における統合型リゾート計画（2030年開業目標）
- ・大阪・関西万博：「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとした国際博覧会（2025年開催）

若者世代の活躍（ミレニアル世代／1981年～1990年代半ば、Z世代／1990年代半ば～2010年代序盤、α世代／生まれたときからデジタル技術が普及したデジタル世代）

▶第六次総合計画 後期基本計画 策定に向けて

(1) 関連する社会潮流・トピック（近年の法制度新設・改定、閣議決定等から抜粋）

●栗東市として新たな打ち出しが必要か（大阪・関西万博のインパクト等とも関連）？

観光立国推進基本計画（インバウンド回復）

観光立国を目指す上での具体的な目標などを掲げた計画で、令和5（2023）年、6年ぶりに第4次基本計画（2023～25年度）が閣議決定。以下の3つの戦略を打ち出している。

- 持続可能な観光地域づくり戦略
- インバウンド回復戦略
- 国内交流拡大戦略

出典・・・「第六次総合計画後期基本計画策定プランニングシートの見直しについて」より抜粋

▶ 第六次総合計画 後期基本計画 策定に向けて

(2) 総合計画審議会からの指摘

【コミュニティ・地域福祉関連】

- 多面的な視点による農福連携（障がい者就労、農林業支援・働き手確保、6次産業、ひきこもり対策等）についてさらに進めてほしい。

【産業活力・就労関連】

- 働く機会を創出してほしい（産業立地促進エリアのまちづくり検討等）。
- アグリの郷の多面的な活用（PA機能の充実、観光・防災拠点活用等）を検討してほしい。
- 森林の維持・再生における多面的展開（GX対応、自然災害・花粉症対策等）を進めてほしい。
- 森林組合の広域化に伴う山林管理の強化・効率化（民間事業者活用等）を進めてほしい。

出典・・・「第六次総合計画後期基本計画策定プランニングシートの見直しについて」より抜粋

▶後期基本計画のプランニング

政策1 経済の安心を生み出す



施策 4 観光の振興

■めざす姿 ..

- ・まちの優れた地域資源の磨き上げや、市民・事業者・関係団体・行政が一体となった周遊型観光の推進と国内外に対する効果的な観光情報の発信により、来訪者が増加しています。

■課題 ..

- ・金勝山をはじめとする豊かな自然や旧東海道など、癒しを与える資源を有していますが、来訪者は決して多いと言えない状況にあります。
- ・市民・事業者・関係団体・行政が一体となり、まちづくりの一環として観光を展開することで、総合的な力を発揮するとともに、まちへの愛着と来訪者を温かく迎え入れる意識を育み、いつまでも住み続けたい、かかわり続けたい、訪れたいと思われることが大切です。
- ・観光に対する期待や意識の多様化により、観光ニーズに応じた旬な情報の提供や、地域性を活かした土産物の開発など、情報ネットワークを効果的に活用した取り組みを推進し、市内各拠点の利用を促進していく必要があります。

【見直し案】

- 多様化する観光客のニーズを満たすと同時に受け入れ地域の自然と文化を未来にもつなげることができる持続可能な観光の推進と、国内外に対する効果的な観光情報の発信により、来訪者が増加しています。

【見直し案】

- 金勝山をはじめとする豊かな自然や旧東海道など、癒しを与える資源を有していますが、来訪者は増加しているものの決して多いと言えない状況にあります。
- 市民・事業者・関係団体・行政が一体となり、まちづくりの一環として観光を展開することで総合的な力を発揮するとともに「馬のまち」としての認知度向上に努め、まちへの愛着と来訪者に対するおもてなし意識を育み、いつまでも住み続けたい、かかわり続けたい、また訪れたいと思われることが大切です。



栗東市
RITTO CITY

出典・・・「第六次総合計画後期基本計画策定プランニングシートの見直しについて」より抜粋

▶後期基本計画のプランニング

■基本方針・・

.....

- 「観光振興ビジョン」に基づき、本市の観光資源の魅力や強みを活用した周遊型の観光振興を推進し、観光消費を喚起します。
- 観光関連事業者や識見を有する者等で組織する観光振興会議において、観光振興施策の検討と効果検証を行います。
- 観光資源を活用した多様な企画運営や市民と来訪者の交流の機会を創出し、地域文化と関連産業の活性化を図ります。
- 広域的な観光事業の展開を図り、誘客拡大を図ります。



【見直し案】

○広域的な観光事業の展開を図り、**情報発信に力を入れることで**誘客拡大を図ります。

出典・・・「第六次総合計画後期基本計画策定プランニングシートの見直しについて」より抜粋

▶第3期総合戦略 策定に向けて

